

外房有料道路を無料化

来年2月から
徴収期間終了

千葉市緑区と茂原市を結ぶ外房有料道路の通行料(320円)が2023年2月から無料となる。1月末で料金徴収期間が終了するため、道路管理者は県道路公社から

千葉県と千葉市に移管される。区間内にある2カ所のパーキングエリアも廃止となる。回数券の払い戻しも受け付ける。道路は全長14.3キロ。大網街道の渋滞緩和のため

1980年に供用を開始した。熊谷俊人知事はツイッターに「交通の円滑化がさらに進むことが期待される」と投稿した。料金所は順次撤去する見通しという。

県、病床確保フェーズ上げ

感染増加傾向受け「3」に

千葉県は県内で新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあることから全域の病床確保のフェーズを20日付で4段階のうち最も高い「3」に引き上げた。フェーズ3とするのは9月13日以来。遅くとも2023年1月10日までに確保病床を現

状より146床増やして1899床とするよう医療機関に求める。11月22日に全域で「2B」としていたフェーズを1段階引き上げた。県内の感染者数は11月半ばから再び増え始め、直近7日間平均で12月18日に7000人を上回った。

20日と21日に確認された感染者数は約4カ月ぶりに9000人を超えた。確保病床の使用率も60%超で推移している。県は病床確保フェーズを7月下旬に全県で最高レベルの「3」としたが、感染状況の落ち着きから9月に入って段階的に引き下げ、10月5日に全県で最も低い「1」としていた。11月入り再びフェーズを引き上げていた。